

平成28年玉村町議会第2回臨時会会議録第1号

平成28年3月28日（月曜日）

議事日程 第1号

平成28年3月28日（月曜日）午後2時開議

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 議案第39号 平成27年度玉村町一般会計補正予算（第11号）

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（15人）

1番	月田均君	2番	渡邊俊彦君
4番	笠原則孝君	5番	齊藤嘉和君
6番	備前島久仁子君	7番	川端宏和君
8番	島田榮一君	9番	町田宗宏君
10番	三友美恵子君	11番	柳沢浩一君
12番	浅見武志君	13番	石川眞男君
14番	宇津木治宣君	15番	筑井あけみ君
16番	高橋茂樹君		

欠席議員（1人）

3番 石内國雄君

説明のため出席した者

町長	角田紘二君	教育長	新井道憲君
総務課長	高井弘仁君	経営企画課長	金田邦夫君
子ども育成課長	齋藤修一君	学校教育課長	小板橋保君

事務局職員出席者

議会事務局長	石関清貴	庶務係兼 議事調査係長	松田純一
主査	平野里都子		

○開会・開議

午後２時開会・開議

◇議長（高橋茂樹君） ただいまの出席議員は１５名であります。定足数に達しておりますので、これより平成２８年玉村町議会第２回臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。



○日程第１ 会議録署名議員の指名

◇議長（高橋茂樹君） 日程第１、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員には、玉村町議会会議規則第１２７条の規定により、１０番三友美恵子議員、１１番柳沢浩一議員の両名を指名いたします。



○日程第２ 会期の決定

◇議長（高橋茂樹君） 日程第２、会期の決定について。

本臨時会の会期につきましては、去る３月２５日に議会運営委員会を開催し、審査をしておりますので、議会運営委員長の報告を求めます。

備前島久仁子議会運営委員長。

〔議会運営委員長 備前島久仁子君登壇〕

◇議会運営委員長（備前島久仁子君） それでは、平成２８年玉村町議会第２回臨時会について報告いたします。

平成２８年玉村町議会第２回臨時会が開催されるに当たり、去る３月２５日午後２時より役場４階会議室において議会運営委員会を開催し、議事日程を作成いたしましたので、報告申し上げます。詳細につきましては、お手元に配付してあるとおりでございます。

本臨時会の会期は、本日１日限りといたします。

町長から提案される議案は、一般会計の補正予算に関する議案１件であります。

本臨時会の効率的かつ円滑な議会運営ができますよう、各位のご協力をお願い申し上げまして、報告といたします。

◇議長（高橋茂樹君） 以上で議会運営委員長の報告を終了いたします。

お諮りいたします。

平成２８年玉村町議会第２回臨時会の会期は、ただいま議会運営委員長より報告のありましたとおり、本日１日限りとしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

◇議長（高橋茂樹君） ご異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は本日1日限りと決定いたしました。



○日程第3 議案第39号 平成27年度玉村町一般会計補正予算（第11号）

◇議長（高橋茂樹君） 日程第3、議案第39号 平成27年度玉村町一般会計補正予算（第11号）。

これより提案理由の説明を求めます。

町長。

〔町長 角田紘二君登壇〕

◇町長（角田紘二君） 議案第39号 平成27年度玉村町一般会計補正予算（第11号）についてご説明申し上げます。

本案は、既定の歳入歳出予算の総額から1,666万5,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を121億4,033万2,000円とさせていただくとともに、繰越明許費の廃止をさせていただくものでございます。

補正内容ですが、3月定例会でご議決いただきました玉村町版総合戦略により取り組みます玉村グルメ開発農業振興・雇用創出事業におきまして、執行財源となる地方創生加速化交付金の交付事務を進めてまいりましたが、国の内示をいただくことはできませんでしたので、歳入歳出をそれぞれ減額させていただき、繰越明許費の廃止をさせていただくものでございます。

また、一般の寄附金として、福祉、教育等のために4団体、1名の方から33万5,000円をいただきましたので、それぞれの使途に充当させていただくため、補正をさせていただくものでございます。

以上、ご審議の上、ご議決くださいますようお願い申し上げます。

◇議長（高橋茂樹君） 提案説明が終了いたしました。

これより本案に対する質疑を求めます。

14番宇津木治宣議員。

〔14番 宇津木治宣君発言〕

◇14番（宇津木治宣君） 何点か質問いたします。

7ページの玉村グルメ開発農業振興・雇用創出事業についてお尋ねをいたします。この予算については、国の事業の採択に至らなかったということで補正減をするということになっているわけですが、そこで何点か聞きたいのですが、地方創生加速化交付金、これはこの説明書によれば、事業内容が一億総活躍社会の実現に向けた緊急対応として、希望を生み出す強い経済を実現するため、また子育て支援や安心につながる社会保障を含め、新3本の矢の取り組みに貢献するため地方創生加速化交付金を創設するものにしたと。これが趣旨になっているわけですが、そして地方版総合戦略に基づく各自治体の取り組みについて、上乘せ交付金等で特徴的な事例を参考にしつつ、先駆性を高めレベルアップする。地方創生を促進、加速させることが目的だと。KPIとPDCAサイクル

を盛り込んだ透明性のある目標をしっかりとしつつ取り組んでほしいということになっているわけです。想定される仕事内容は、仕事創生、人の流れ、働き方の改革、まちづくり、とりわけ各都市間の連携を目指すものがよいとされているわけであります。そこで、玉村町が提案したレトルトカレー等々の取り組みについて、この趣旨とやっぱりぴったりこなかったことが採択にならなかった原因なのかどうか。その辺の原因についてどう分析をしているのか、お尋ねいたします。

3回しか聞けないので、一遍に聞きます。

それから、35自治体のうち28自治体が申請して、19市町村が採択になり、9市町村が不採択だったということですがけれども、この辺の状況について、どのような事業が採択になって、どんなのがダメだったのか、情報をつかんでいけばお聞かせいただきたい。

もう一点、先日の上毛新聞によれば、不採択になったこの地方創生加速化交付金について、県レベルで不採択になったものについて何か対応策を考えていこうという報道がなされていました。これについて、当町についての取り組みはどうなっているのか。

それから、もう一点、元来、28年度予算編成では、玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく政策を今年度というか、来年度、展開をしていくということが柱になっているわけですがけれども、その一番の取り組みのところのこの事業が1,700万円ですがけれども、国からお金が来なかったからやめるのだと、こんな程度の受けとめで一体いいのかどうか。1,700万円、自前で用意してもやらなければならない事業だったのではないかを聞きたいです。

以上の点についてお伺いいたします。

◇議長（高橋茂樹君） 経営企画課長。

〔経営企画課長 金田邦夫君発言〕

◇経営企画課長（金田邦夫君） 複数ございますので、まず最初の、この内示が得られなかったあたりの理由だと思うのですが、これにつきましては、きょう実は県庁で午前中、県の地方創生推進室という場所があるのですが、そこが主催する会議がございました。その中で、今回の加速化交付金について、国の採択基準で特にポイントになっていたものが、都市間連携、地域間連携というものを重視したということでございます。でありますので、例えば観光で連携するとか、世界遺産関係で連携するとか、そういった複数市町村にまたがる合同で行う事業のようなものが特に優先されたというようなことでございます。

でありますので、玉村町の今回の提案事業につきましては、上野村との連携は、我々とすればそこを評価していただけるものかと思っていたところだったのですが、その部分がちょっと弱かったのかなという思いがしております。

あと、19市町村が採択されたということなのですが、公表されている資料を見ますと、例えば前橋市においては大学の退職者を活用した知の継承プロジェクト、内容についてはちょっと定かではございませんが、そういったものでありますとか、あとは伊勢崎市においては、やはり富岡製糸場と連

携した絹遺産群を有する上武絹の道推進事業というものが、やはり藤岡市とともに採択されております。そのほか、真田丸の沼田あたりは、やはりこれは脚光を浴びているということもあると思うのですが、採択されたりしております。

あと、DMOというのですが、これも観光関連の事業です。外国人の観光客も今後オリンピックを目指して誘致していく上に当たって、複数市町村でこういった観光促進をワンストップで行えるようなサービスを行うことができるような組織体をつくっていこうというDMOというような考え方がございます。それを目指すような取り組みとか、そういったものが、例えば下仁田町と、県境を挟みますが、隣の軽井沢町あたりとの連携がございます。そういったものも採択されておるところでございます。あと、前に全協の中でもお話し申し上げましたように、比較的中山間地域のものが採択されているような様子でございます。

あと、3番目に、上毛新聞の報道だったのですか、県レベルでだめだったものを、私、ちょっと見なかったものですから、詳しくは申し上げられないのですが、再度、新聞などを見直した上で、今ちょっと即座にお答えできないので、申しわけございません。

あと、今回この事業については、総合戦略の一つの目玉として取り組んできておりますし、上野村との連携なども、年明け早々、もう始めて、いろいろ準備をしてきておりました。私どもとすれば、秘蔵っ子みたいな扱いで取り組んできた事業だったものですから、それが今回ゼロ査定みたいなことになって、非常にがっかりしたところなのですが、総合戦略の中で目指しております玉村町産の農畜産物を6次産業化して、特産品として、例えば道の駅などで売り出すとか、また雇用と絡めて雇用促進を図るとかというものは総合戦略の一つの大きな柱になってございますので、これは私がどうこう言える立場でなくなっておりますが、後任の者に伝えるような気持ちでおるところでございます。

以上でよろしいでしょうか。

◇議長（高橋茂樹君） 14番宇津木治宣議員。

〔14番 宇津木治宣君発言〕

◇14番（宇津木治宣君） 2回目の質問をします。

結局、私もいろいろなところに聞きましたらば、伊勢崎市なんかでも、伊勢崎、藤岡、富岡と絹の遺産群を関係プレーして通ったと。よかった、よかったと言っていました。国が考えている本当のところをやっぱりぴったりニーズをつかんで、それを受けとめていくと。今回、出さないでだめになってしまったわけではないので、その点の努力は大いに評価をしたいと思うのです。

結局、最後の3点目の話になるのですが、上野村とも協議をしてあるだろうし、関係の団体とも密接な打ち合わせをして、よいしょ、よいしょと、そろそろ進める段取りに、そのつもりになっている部分もあると思うのです。その上で、地方創生の一番の玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略の中でもレトルトカレーについてはうたっているわけですから、これで1,700万円もらえなかったから、もう御破算と、こういう考え方でいいのかどうか。町長、その辺について、私の政治経験では、

金がもらえるからやる、もらえないからやらないということは余り褒められた話ではないと。私としては、1,700万円ぐらいはどこか繰り出してやるのだという考えも選択肢の一つだったのではないかと思います。

それから、総務課長、県の、上毛新聞を総務課長はお読みになっているようですけれども、その辺、どうでしょうか。その2点をお伺いします。

◇議長（高橋茂樹君） 町長。

〔町長 角田紘二君発言〕

◇町長（角田紘二君） お答えします。

今回の農業振興・雇用創出事業ということで、玉村カレーということで出したわけでございますけれども、先ほど課長がお話ししましたように実際には採用されなかったということでもあります。上野村とは、これまでのいろんな経緯がありまして、それぞれのところで非常にうまくいっていると思えますけれども、このような企画が認められなかったということで、私はやはり玉村町の6次産業といえますか、6次商品、産物を開発する、あるいはこれによって雇用が促進できるということで、この趣旨に合った事業だというふうに認識しておりましたけれども、実際、上野村と共同でいろいろやることがありますので、今後これを継続して、玉村町でやったほうがいいのかどうかということに関しては、もう一度、それぞれの意見を出し合って検討させていただきたいというふうに考えております。

1,700万円ということでもありますけれども、ただ金額の問題ではなしに、これが事業化されて、そして将来発展的に発展性があるかどうか、このような事業を町が本格的に取り組むかどうかという考え方の大切どころであろうというふうに思いますので、もう一度、この事業の将来性というものを見て検討させていただきたいというふうに思っております。

〔「上毛新聞」の声あり〕

◇町長（角田紘二君） 上毛新聞の記事は、ちょっと私、見ておりません。済みません。

◇議長（高橋茂樹君） 総務課長。

〔総務課長 高井弘仁君発言〕

◇総務課長（高井弘仁君） まことに申しわけありません。

私も上毛新聞の記事ちょっと見なかったのですが、今ちょっと担当課長とも話していたのですが、これが次の2次募集があるようなことは国から出ているようなのですが、それにつきましては同じ事業では採択にはならないというような話は聞いておるのですが、その辺で、私もちょっと、済みません、見なかったということで、ご勘弁願いたいと思います。

◇議長（高橋茂樹君） 14番宇津木治宣議員。

〔14番 宇津木治宣君発言〕

◇14番（宇津木治宣君） 町長も、我々は審議するときに、先駆性があるという提案をいただいたので、採決、賛成したわけです。ですから、先駆性があるということになっているわけです、申し上げ

げますけれども。その建前で言っているわけですから、国の好みに合わなかったかどうかというのは、ちょっと疑問が残るところですけれども、この事業はやっていくべきものだったという立場に立った提案だったので、本当に大丈夫かなというのは疑問を持ちつつも賛成したわけです。これは、これ以上話しても無駄になりますけれども、いずれにしても関係団体、それから上野村、さまざまな協議を重ねていて、もらえなかったらよす、こういうことでなく、もっと慎重な、今後の展開も含めて、これは要望しておきます。

以上です。

◇議長（高橋茂樹君） ほかに質疑ありませんか。

9番町田宗宏議員。

〔9番 町田宗宏君発言〕

◇9番（町田宗宏君） 今の宇津木議員の項目なのですが、農業振興とか雇用創出に役立てようと、こういうことだと思うのですが、どれぐらいの規模のものを考えていたのでしょうか。私は、カレーライスをつくと聞いたときに、本当に農業振興なり雇用創出に役立つほどの効果のあるものができるかと、そこに非常に疑問を持っていたのです。今回、私は、これは国で取り上げられなかったということはよかったなと思っています、はっきり申しまして。というのは、最終的にこれぐらいの工場をつくるのですよ、年間生産量はこれぐらいですよ、そういう詰めができていなかったのではないかと私は思うのです。もしできていたら教えてください。

◇議長（高橋茂樹君） 経営企画課長。

〔経営企画課長 金田邦夫君発言〕

◇経営企画課長（金田邦夫君） 休憩願います。

◇議長（高橋茂樹君） 休憩いたします。

午後2時22分休憩

午後2時22分再開

◇議長（高橋茂樹君） 再開いたします。

◇議長（高橋茂樹君） 経営企画課長。

〔経営企画課長 金田邦夫君発言〕

◇経営企画課長（金田邦夫君） お答えいたします。

まず、今回の事業によってもたらされる、この場合にはK P Iと申していますが、につきましては、レトルトカレーを販売することによって町内の飲食店の従業員数の雇用が伸びるだろうということで、現状は427人の中で、目標年次においては450人になるだろうと。また、町内の従業者数におい

ても、その分増加が見込まれるということで、例えば大きい企業を誘致するような大幅な雇用増にはつながらないのですが、そういった427から450になるだろうという、飲食店の従業員数、そういうような見込みは立てております。

また、農業振興のほうなのですが、今回の玉村のレトルトカレーの販売を一つの芽出しにして、玉村産の農畜産物、そういったものを加工販売することによって農業生産額の増加だとか、農業者の経営の安定だとか、そういったものにつなげていきたいという計画がございました。ただ、それを具体的に実数でどうこうというような試算はしてはございません。

◇議長（高橋茂樹君） 9番町田宗宏議員。

〔9番 町田宗宏君発言〕

◇9番（町田宗宏君） それで、私が思うに、これは大したことなかったと。国で認められなかった、これはよかったと、はっきり申して、私はそう思っています。ただ、今後、農業振興なり雇用創出の事業については、しっかり考える必要があると思うのです。農業も重要ですから。玉村町はこのままずっと今までのことをやっていたら消滅してしまうという可能性があるということになっているのですから。したがって、まち・ひと・しごと云々の総合戦略あります。あれを一応はでき上がったけれども、中身はまだ余りありません。だから、あの中身を、これは非常にいい機会ですから、具体的にこういう事業をやれば、将来消滅する可能性はなくなるのだということをおぼろげに詰めておいてもらいたいのです。それで、国なり何なりから、こういう今回のような募集みたいなことがあれば、すぐ出すと。そういうぐあいにぜひやってもらいたいと思うのですが、いかがですか。

◇議長（高橋茂樹君） 経営企画課長。

〔経営企画課長 金田邦夫君発言〕

◇経営企画課長（金田邦夫君） わかりました。

あす、後任の課長と事務引き継ぎを行いますので、今お話しいただいたことはしっかり伝えます。

◇議長（高橋茂樹君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

◇議長（高橋茂樹君） 質疑終了と認めることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

◇議長（高橋茂樹君） ご異議なしと認めます。

次に、本案に対する討論を求めます。

〔「なし」の声あり〕

◇議長（高橋茂樹君） 討論なしと認めることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

◇議長（高橋茂樹君） ご異議なしと認めます。

次に、本案に対する表決を行います。

本案を原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

◇議長（高橋茂樹君） ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。



○字句等整理委任について

◇議長（高橋茂樹君） お諮りいたします。

玉村町議会会議規則第45条の規定に基づき、本会議の議決の結果、その条項、字句、数字、その他整理を要するものにつきましては、その整理を議長に委任されたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

◇議長（高橋茂樹君） ご異議なしと認めます。

よって、条項、字句、数字、その他の整理は議長に委任することに決定しました。



○閉 会

◇議長（高橋茂樹君） 以上をもちまして、本臨時会に上程されました議案の審議は全て終了いたしました。慎重審議いただき、まことにありがとうございました。

これをもちまして、平成28年玉村町議会第2回臨時会を閉会いたします。

大変ご苦労さまでした。

午後2時27分閉会